研究機関名：東北大学

受付番号：	2010-29
研究課題名	軽度認知機能障害患者の服薬管理能力とその評価に関する実態調査
研究期間	西暦　2010 年　5 月（倫理委員会承認後）～ 2011 年　5 月

対象材料

□病理材料（対象臓器名　　）
□生検材料（対象臓器名　　）
□血液材料　□遊離細胞　■その他（2004年1月～2010年2月までのカルテデータ）

上記材料の採取期間　西暦　　年　　月～　　年　　月

（過去の既存資料のみを用いた観察研究であり、上記のいずれにも該当せず）

意義、目的

軽度認知機能障害(MCI)は、認知症ではないが完全に正常とはいえない状態を指す言葉で、認知症に進行する可能性のある状態として重要視されている。認知症に至った場合の服薬支援の必要性には疑問の余地はない。しかし、このMCI患者の服薬管理能力について報告した研究は過去に存在しない。もしMCI患者の服薬管理能力の特徴が明らかになれば、MCI患者にとってより「適正な」服薬管理・支援を実現できると考えられる。

本研究では、東北大学病院入院患者の服薬管理アセスメントにおいてMCI患者がどのように評価・管理され、服薬の状況がどのように経過しているかをカルテ調査を通して明らかにする。同時に病棟で服薬指導を行っている薬剤師の判断はどうなっているかについても調べ、看護師・薬剤師の評価に違いがないか確認する。

方法

まず東北大学病院老年科で保存している入院患者リストより対象者を抽出する。この抽出された対象患者について、外来カルテ・入院カルテの調査を行う。東北大学病院老年科では、入院患者全員に対し看護師が内服自己管理アセスメントを行い、その結果をもとに服薬管理の方式を決定している。また、薬剤師が看護師とは別に独自の評価を行い、それを元に服薬指導を行っている。入院カルテにはこれらの評価結果とそれに対して看護師・薬剤師がどのような評価をしてどう管理・指導を行ったか、また入院精査の結果明らかになったMCI患者の特徴が記載されている。退院後の経過に関しては外来カルテを参照し、特に服薬管理の経過に関して可能な限り明らかにする予定である。

問い合わせ・苦情等の窓口

東北大学加齢医学研究所加齢老年医学研究分野（東北大学病院老年科）
TEL: 022 - 717 - 7182　　（担当）　冨田　尚希